

Rotary  |  イマジン
ロータリー

釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「みんなが楽しいロータリー」

2022-2023年度 第29回通算第1174回)

プログラム「世界について語ろう例会」(担当)国際奉仕・7ベイ友好委員会

■日時:令和5年2月14日(火)18時30分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル釧路

(会長)濱田 聖子 (副会長)貝嶋 政治 (幹事)千葉 潔 (副幹事)遠藤 若枝

■ 点 鐘

濱田 会長

■ ロータリーソング
「我等の生業」



ソングリーダー 貝嶋 政治 副会長

会長挨拶

濱田 聖子会長



皆様 こんにちは！
いよいよ立春に入りました。節分が終わり、立春は旧暦の新年との事で2023年の始まりだと言われています。2月は梅の花が咲き、さんしゅゆの花がほころび木蓮の花が芽吹き、花たちが喜ぶ2月です。2月11日に春日賢二君の49日のお参りをさせて頂きました。先週の「まだまだ会員を増やそう例会」の漆崎副ガバナーの卓話は計画性が有り、実りある例会でした。此の計画の流れが実りあります事を願います。漆崎副ガバナー、よろしくお願ひ致します。さて今日は「世界について語る

う」例会です。国際ロータリーは地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現する為に進み、全ての人が健康でお互いを大切にし、平等に暮らせる世界をつくる事が大切だと、うたわれています。日本ではコロナを今春より「5類」に移行しルールも緩和すると発表されました。マスク着用も3月13日からは屋内、屋外にかかわらず個人判断で着用する事と決定しました。この決定に賛否両論はありますがコロナ感染で世界中が苦しんだ3年間の長く暗いトンネルに明るい灯りが見えて来ました。

立春に入り春が来る喜びを感じています。今日は2月14日 バレンタインデー、チョコレートの日です。女性会長から皆様にささやかなチョコレートケーキをお贈りいたします。ご笑納頂ければうれしいです。

国際奉仕・7ベイ友好委員長よりよろしくお願い致します。

■幹事報告 千葉 潔 幹事



① 今年度の会長エレクト研修セミナー (PETS) ですが、オンラインZOOMでの開催となりました事をご報告致します。

② 先週行いました理事会にて、4月25日職業奉仕委員会担当プログラムを4月22日(土)帯広西

ロータリークラブ様への集団メーキャップ訪問に変更となりました事をご報告致します。宿泊の兼ね合いもございますので早めに会員の皆様へ御案内文をお送りしたいと思います。

多数の方のご出席をお待ちしております。よろしくお願い致します。

委員会報告 倉茂良衛君



■各種記念日の紹介

《親睦活動委員会》

入会記念日 後藤 義信 君

平成28年2月16日(7年目)

後藤委員長 これからもよろしくお願い致します。



誕生祝、結婚祝、該当者はありません。

★本日のニコニコ献金

14,000円 累計 823,000円

小銭献金 累計 3,327円

【植原委員長、宜しくおねがいます】
濱田聖子さん、千葉潔君、遠藤若枝さん、平野知子さん、倉茂義衛君、横山豊君、池田圭樹君、後藤義信君、貝嶋政治君

本日のプログラム

「世界について語ろう例会」

(担当)

国際奉仕・7 ベイ友好委員会

植原 元晴 委員長



コロナ禍で旅行などしばらくできなかったのので家に放置していた今までの写真やビデオを整理しようと思い調べていくと写真に撮影時間や場所の記録がないため思い出せないものが多数あることに気づきました。最近ここ 10 年ほどは子供の学費のために国内の旅行しかできませんでした。子供がまだ小さかったころは年末年始やGWにはよく海外旅行に行っておりましてパスポートで時期を確認しようと思いましたが記録がありません。そこで出入国在留管理庁に開示請求をして今回自分の海外渡航歴を調べて見ました。今回この例会では私の

これまでの海外での印象について話をしたいと思います。

1, まずこの写真はオーストラリアのほぼ真ん中にあるエアーズロックの一枚岩です。私の大好きな場所で世界 3 大夕日ではありませんが大変夕日がきれいでした。私が行った頃はまだ登山が可能で登る予定だったのですが当日摂氏 50 度の猛暑で危険なため中止となってしまいました。実はこの岩は先住民族アボリジニにとっては聖地となっており、今は登山が禁止されております。

2 私の行ったところ。ヨーロッパは 2 回、新婚旅行で 1 回と父親とスキー、オーロラを見に行った 1 回です。韓国は 1 回、シンガポールは病院の旅行で 1 回、ハワイは病院の 10 周年、20 周年旅行で 2 回とマウナケア天文台に家族旅行で 1 回、両親とカンボジアの世界遺産アンコールワットに 1 回、ニュージーランドに 1 回、後は全てオーストラリアに回です

3 一番好きなオーストラリアは年末年始に行きました。一番いいのは季節が反対で暖かい事、時差がない事、治安が良い事、観光地が多いので日本語の通じる場所が多い事などです。難点としては物価が高いことでしょうか。地図の赤丸のついてる年に行きましたが最も多いのは日本から最も近いケアンズで、次に日本との直行便のあるシドニーです。シドニー

はオーストラリア最大の都市ですが首都はシドニーではなくキャンベラです。1901年のオーストラリア独立に際し、同国の二大都市であるシドニーとメルボルンの間で首都機能の誘致をめぐる争いがあり。そのため、妥協案として新首都が建設されることになり、1908年、キャンベラがオーストラリアの首都に選ばれたそうです。それではまずケアンズから紹介しましょう

4 ケアンズはオーストラリアの北東部にある人口16万、丁度釧路と同じくらいの町で沖合には有名なサンゴ礁のグレートバリアリーフがあります。気候は熱帯で11月から5月は雨期の時期、つまり年末年始は雨期の時期ですが日本の梅雨のように1日中雨が降っているわけではなく夕方などに一気に雨が降るような感じでしたので観光には支障ありませんでした。日中の最高気温は32度位、最低が23度でやや蒸し暑い感じですがグレートバリアリーフでシュノーケリングをしたりハートの形をしたサンゴ礁もあつたり最高でした。

5 ゴールドコーストは、オーストラリア最大の観光保養地として世界的に有名。

高齢者向けの保養施設やコンドミニアム等があり、日本人滞在者も多い。高級別荘も数多く明石家さんまも毎年きているらしいです。サーフィンの聖地で多くのサーフポイントがあります。私はサーフ

インはできませんが子供向けのテーマパークがありましてそこに子供を連れて遊びに行きました。また奥さんは買い物に精を出しておりました。

6 シドニーはオーストラリア最大の都市で人口500万あまり、有名なオペラハウスやシドニータワー、ハーバーブリッジなど見どころは沢山あります。ここでも奥さんは買い物に精を出しておりました。またシドニーから内陸に100km程のところに世界遺産ブルーマウンテンズがありトロッコ列車に乗って観光できます。また大みそかには2時間ほどに及ぶ大花火大会があり宿泊先のホテルからまぢかに見ることができました。

7メルボルンはオーストラリアの南東にありシドニーに次いで人口は多く300万ほどです。私が行ったときは日中は40度近くになり大変暑いのですがクールチェンジと地元の人が言うておりましたが夜は急に20度以下に下がりびっくりしました。昼は内陸の砂漠地帯から風邪が吹いて熱くなり夜は南極から吹く風に冷やされて気温が下がるのだそうです。夏は高温のため山火事が頻発し2000年には過去最大の火事が続き森林が焼失したそうです。オーストラリアは元々降雨量が少なく温暖化のために近年さらに降水量が減り気温の上昇によって火事が長引いたようです。森林消失により温暖化がさ

らに進むことが世界的に危惧されており日本ではあまり関心がないかもしれませんがSDGSに関わる重要な問題となっております。私がこの地で感動したのはメルボルンから南西に約90km世界で最も美しい海岸道路と呼ばれる、グレートオーシャンロードです。風光明媚な海岸線が続き非常に印象的でした。また驚いたのは普通の片側1車線の国道みたいな道路がハイウェイと言って制限速度が時速100kmだったことです。分離帯のポールはついていましたがオーストラリアは広大なためかこのような制限速度の道路が多いそうです。

8 パースはオーストラリアの西南でインド洋に面した都市です。人口は200万程でオーストラリア4位の都市です。町の景色が非常にきれいで湖が多く点在し近代的なビルも林立し治安も良く過ごしやすい気候でした。近郊のフリーマントルには市場がありいろいろ珍しいお土産が売っており奥さんは買い物に精を出しておりました。おすすめはパースから車で北へ約3時間のところに位置するピナクルズです。別名「荒野の墓標」と呼ばれている摩訶不思議な空間。黄色い砂漠に何千何万もの岩がニョキニョキと生えているんです。またウェーブロックと呼ばれるこのような岩もお勧めです。

9 ダーウィンはオーストラリアの北部で熱帯気候、人口は14万人

と小さな町です。実はこの町は第2次世界大戦で日本の攻撃を受けて被害を受けたそうです。おすすめスポットはクロコダイクルーズとアボリジニの壁画鑑賞ツアーです。川をクルーズ船が航行しているときに餌を差し出すとワニが飛び上がってきて食べてしまいます。間違っって川に落ちたら食べられて一巻の終わりになるでしょう。カカドゥ国立公園にあるアボリジニの壁画は1万7千年以上前のもので、かつてはオーストラリアと東南アジアは陸続きとなっていた時期がありその時に移り住んだとされているそうです。

10 オーストラリア以外に印象的なのはスイスです。私は新婚旅行の時にマッターホルンを見て大変感動しスキーが大好きな父親にも体が動くうちに再訪してスキーをしてきました。とにかく広大で一番上は氷河になり富士山よりも高く、しかもロープウェイなどを乗り継いで一気に上がるため酸欠になります。ふらふらしながら滑り1日かけて隣のイタリアに国境越えです。標高差が大きいと心肺機能がしっかりしていないと大変です。また町は電気自動車のみ使用可能で空気がきれいなのが印象的でした。

11 次はニュージーランドです。南半球のオーストラリアの隣にある国ですが人口は少なく500万で北海道より少し少ないくらいです。

面積は日本よりやや小さいですが北島、南島に分かれておりお勧めは南島のクイーンズタウンの近くにあるミルフォード・サウンドというフィヨルドです。フィヨルドとは北欧のノルウェーが有名ですが入り江からそびえたつ 1000m 級の山々や海に向かって豪快に落下する滝など、その荘厳な景色は圧巻です。

12 10 年前の GW に両親と世界遺産のアンコールワットに行ってきました。カンボジアへはタイのバンコク経由で行きましたがバンコクからアンコールワットへはプロペラ機でとてもローカルでした。GW の時期は大変暑く 40 度近くありましたが汗かきかきで見てきました。

13 最後にフィンランドです。北欧の国でロシアの西、北極圏ですので冬は極夜(きょくや)があります。白夜は太陽が沈まない日ですが、その反対で極夜は太陽が昇らない日のことです。フィンランド語でカーモスといいます。この国に行った目的はオーロラを見る事でした。無事に見れたのですが何せ 1 日中ずっと真っ暗ですごく寒く 1 日中マイナス 30 度位でオーロラを外で待っていると体が冷えて凍傷になりそうでした。そのため酒場で昼からお酒を飲んで酔いながら待っておりました。ようやくオーロラが出てきて写真を撮ったつもりでしたが翌日確認すると何

も映っていませんでした。酒に酔いすぎていたためと思われ大変残念でしたが頭の中には鮮明に覚えております。どうやらオーロラのお勧めは秋の時期の様で冬は暗くていいのですが寒すぎて外で観測する人は少ないようです。その時私とオーロラ観光しているのはドイツ人の 4 人だけでした。

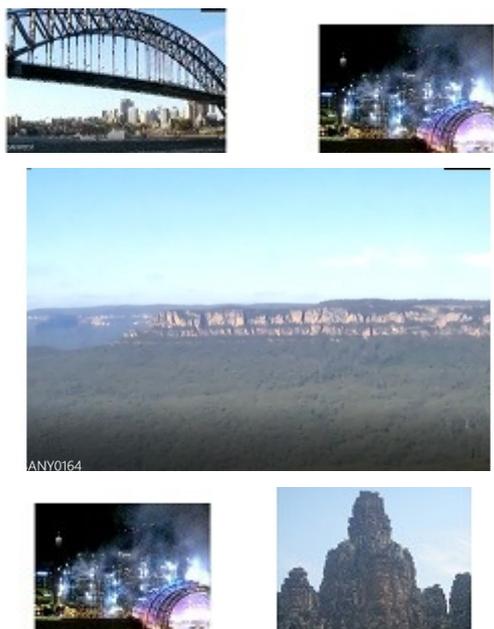
ハワイ、韓国にも行きましたが皆さんもよくご存じの国ですので時間の関係もありますので今回は割愛させていただきます

以上です



08 南アフリカ共和国のポートエリザベス

釧路ベイロータリークラブ会報



《例会風景》



《後藤委員長出席報告》



在籍会員数	19名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	出席 11名	名 / 2名	6名 / 名	68%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

委員長 横山 豊 : yokoyama_jiritsu@email.plala.or.jp

副委員長 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp

委員 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp

委員 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com

クラブ事務所

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154) 23-6213

URL : //www.rc-kushiro.jp/bay/